

## 施策評価調書

施策名	3-1-1	自然環境の保全と景観形成		施策を取り巻く環境変化	麒麟麦酒株式会社工場の閉鎖により麒麟麦酒のピオトープでの自然観察会が実施できなくなった。
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ	P. 43		
担当部課	住民生活部 環境課	担当	環境担当		
		リーダー	竹澤 伸一		

### 1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	27.4% 第3位/全36項目(自然環境の保全と景観形成)	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	40.7% 第28位/全36項目(自然環境の保全と景観形成)	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの  
 優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

### 2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
指標1:環境基本計画の見直し実施	H22年度時点での実績	計 画	実施				
	未実施	実 績					
指標2:環境学習参加人数:(人)	H21年度実績	計 画	1,800人	1,850人	1,900人	1,950人	2,000人
	1,704人	実 績					
指標3:		計 画					
		実 績					
指標4:		計 画					
		実 績					
指標5:		計 画					
		実 績					
指標に関する特記事項	○指標1:環境基本計画の見直しは、リサイクル総合計画の見直しも同時に実施する予定です。 ○指標2:環境学習参加人数は、関係事業の参加者総数としています。						

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

### 3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年 度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当 初	13,774			
	決 算					

### 4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

### 5. 施策評価

	後期計画における施策展開のビジョン	H23年度の狙い
自己評価(部)	<p>【1】環境基本計画の見直し 環境基本条例に基づき平成18年度に環境基本計画を策定し各種の環境施策に取り組んできましたが、中間地点においてこれらの取り組みの検証と必要な見直しを行い、環境基本計画に掲げる施策の実現を推進します。</p> <p>【2】環境学習への参加 前期計画において進めてきた施策を継続して実施していくとともに、環境基本計画に掲げる基本目標①「豊かな自然を守り育み、自然と共生するふるさと」②「環境にやさしく、安心して暮らせるふるさと」③「手間、暇かけて協働で築く、人と環境に思いやりのあるふるさと」、これらの目標を実現するためより環境学習を充実させていきます。環境学習は、これまでと同様民間の活用を進めるため、環境学習の拠点であるエコ・ハウスたかねざわを中心に関係機関との連携を強化しながら実施していきます。</p>	<p>○ふるさとづくり委員会の参画により環境基本計画における環境施策の取り組みの検証を行い、目標年度における指標の見直し、あわせてリサイクル総合計画の見直しを行い、環境施策の方向と目標を町民に周知し町民の理解と意識醸成を推進します。平成23年度に実施するプラスチック分別の説明会において環境基本計画及びリサイクル総合計画の概要をお知らせし、事前啓発をおこないます。</p> <p>○環境学習の拠点施設であるエコ・ハウスたかねざわを中心に、指定管理者である民間による環境体験教室、各小中学校への出前講座や各小中学校でのピオトープ、落ち葉のプールを活用した環境学習など継続して実施していきます。継続することで多くの町民の環境への関心と参加による取り組みを促します。</p>
総合評価(町長)	<p style="text-align: center;"><b>総合評価</b></p> <p>前期計画での達成状況を踏まえ、環境学習に対し継続的に民間の力を活用した施策展開を行なうことを評価する。                      ただし、後期計画の施策展開は、環境施策を推進していく上で指針となる、環境基本計画の検証と見直しを行うことで、実情に併せた施策展開が望まれることから、今回立ち上げる「ふるさとづくり委員会」で今まで取組んできたことをよく精査するとともに、何に特化して選択と集中が図られた施策展開とするのか、エコ・ハウスたかねざわや各地域に広がった環境保全団体など関係機関との連携をさらに強化しながらの施策展開を行っていくこと。</p>	